

コーポレート計算ソフト利用時間取得について

1. 通行時間をETC利用照会サービスより取得します。

取得に必要なデータ

- 『利用年月日』 公団から来るデータにあります。
- 『車両番号』 計算ソフトに登録が必要です。
- 『カード番号(16桁)』 コーポレートカード番号

2. CDデータと利用照会サービス取得データの違いについて

- 料金所名 CDのデータは実際の料金所名、利用照会サービスは一般的な名称
例) 三鷹本線 (CDデータ) 高井戸 (利用照会サービス)
- 通行料金 CDデータの方が安く表示される事があります。
社会実験割引等の特別割引は利用照会に反映されないからだと思います。
- 通行時間 利用照会サービスが正しい通行時間、CDデータは料金所の授受員の交代時間によりずれるそうです。ずれ方に規則性はないみたいです。

3. CDのデータと利用照会サービス取得データの関連付け

1. CDデータの通行日(当日00:00～翌日00:31)が一致、料金所名が完全一致しているものを関連付ける。
2. CDデータの通行日(当日00:00～翌日00:31)が一致、料金所名が部分一致しているものを関連付ける。
3. 手動で残りデータを関連付け。(料金所名違・料金違・通行データ重複(連日同じ区間を乗った場合)等)

通行時刻所得(自動)

通行時刻関連付(手動)

取得対象
全取得…全データを取得します
指定組合員取得…表示されている組合員のデータのみ取得します
指定カード取得…表示されているカードのデータのみ取得します

コーポレートカード利用日
(利用日+利用日の翌日が表示されます)

コーポレートカード利用データ
(取得済・関連付済は通行時刻表示)

利用照会サービスHP

料金所名置換用データ

1. 『部分一致検索』で一番該当しそうなデータを検索します。(料金違い等)
- 検索すると、コーポレート通行データ及び利用照会未割付データが選択されます。
2. 『関連付』を押して時刻を関連付けます。
3. 『関連付データ確定』でデータベースを更新します。

2つの通行データを入れ替えます

関連付けされている通行データを削除します

『はい』を選択すると印刷データを更新します。

基本的に、利用照会データで取得したデータは、CDデータにあるはずですが。(月初・月末はCDデータ前月・翌月に入る可能性があります) 同じ日に同じ区間を走行している場合は、どちらに関連付けても大丈夫です。CDデータと利用照会サービス取得データの日付が違う関係で、関連付がうまくいかない場合がありますので、『通行時刻関連付』の画面で調整してください。車両不一致や、支払を手渡しでしている場合には時間は表示されません。